

ふるさとの仲間たち

箱根生きもの図鑑 (24)

アユ

川魚の女王と称されるアユは、稚魚期を海で過ごす回遊魚です。春、稚アユが川へ上る頃、溯上数が気になる鮎釣りファンが川をのぞく姿を目にします。神奈川県西部では、ひとまたぎほどの小さな川にも溯上して、下流の小さな堰を全長6〜9cmのアユが懸命に飛び越える姿が見られます。

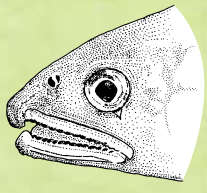
6月1日の解禁日ともなれば前日からの徹夜組も含め、河原は大勢の釣り人であふれます。この頃には全長18cmに達するアユもいて、川魚の中では抜群の成長率です。これは、餌となるケイソウの栄養価が高く、しかも生産力が非常に高いためと言われています。

アユの口は、石の表面に付くケイソウを効率良く削り取って食べられるよう、くし状の歯が並んでいます。食べ跡は「はみあと」と呼ばれ、湯本を流れる早川でも川岸から観察することができます。

鮎の友釣りは、藻類が付く石を独占しようとする縄張り行動を利用したもので、「鮎は石を釣れ」と言つ言葉にも表われています。この縄張りの習性は、氷河時代に、年魚であるアユが食物不足で成長できず、共倒れとなって子孫を残せなくなるのを防ぐために生まれたとされています。



▶急流を泳ぐアユ 撮影：山崎 泰



アユの口

アユの餌であるケイソウは、水質によって生育する種類が変わります。アユの味を決める良い「水あか」が付くには、良好な水質が必要です。

とっておきの1枚 拝見!

仙石原 佐々木悦子さんより

12年前、当時柔道に夢中になっていた子どもたちがオリンピック大会のために仙石原に強化合宿に来ていた山下泰裕監督や古賀稔彦選手などから指導をもらいその記念に撮った写真です。

翌92年のオリンピックバルセロナ大会で古賀選手は金メダルをとり、この写真は私にとって思い出深い大切な宝物となりました。(左端が佐々木さん)



皆さんの思い出や記念の写真を募集しています。詳しいことは企画課へお問い合わせください。

わが家のちびっ子



上野 ^{りょうへい}稜平 ^{くん} (3歳7か月)
^{さえ}沙瑛 ^{ちゃん} (2歳7か月)
 康彦・里佳さんの長男・長女(湯本)

♥お母さんからひとこと
 「おともだちとなかよくね!」

町の人口と世帯

人口	15,088 (+4)
- 5月1日現在 -	男 7,145 女 7,943
()内は前月比	世帯 7,286 (+50)



100
 古紙配合率100%再生紙を使用しています。